



# 野の花新聞

No. 15 2011年8月号 「DJ」

みなさま、こんにちは。

野の花の みなかた あきこです。

ついに、夏本番！今年は特に、節電の問題もあり、熱中症の多発が懸念されています。地球単位で資源を真剣に考える時がきていますが、それも一人一人の健康あってこそ・・・自分のできる最良の範囲で 真剣に取り組みたいです。



さて、今月は、去年9月から始めたラジオのDJについてお話をさせてください。

自分でも、なんでDJしてるのか、時々不思議に思います。火種は、毎朝聴いているラジオでしょうか・・・？DJの声、話し方、にじみ出る人柄は、朝早い番組であるにもかかわらず、その番組を聴くためだけに早起きさせる魅力がありました。そして、火種に火がついたのは、サロンのオープン。「野の花」の理念をたくさんの人に説明しなければいけません。声や話し方で、伝わるものはずいぶん変わります。もっときちんと話したい、人を惹きつける話し方をしたい、という思いが大きくなっていき、そんな時に、「DJスクール」の広告に出会ったのです。もちろん、迷うことなく入学しました。初めて入るスタジオは、機械だらけです。機械音痴の私は、見るなり逃げ出したくなり、これは大変な所に来てしまったと後悔しました。マイクに向かうと、緊張と恥ずかしさで、声は引っくり返るわ、手は汗と震えで原稿がうまくめくれないわ、おまけに言葉はカミカミだわ・・・けれども今では、その緊張感を楽しく感じるようになりました。思いの表現と発信、それを声だけで伝えることの奥の深さ。やればやるほど 道の遠さを思い知らされ、もっと先へ進みたいと、駆り立てられるのです。プロデューサーのHさんは 優しい方なので、未熟な私でも「いいですねー」とほめてくれます。ほめられるとがんばってしまいますね。

「野の花でまったり」していただくために、テーマを選び、曲を選び、言葉を選ぶ。声を磨く。一人でも、楽しんでくれる人がいたら、その人のためだけでもいい、話し続けたいと 思うのです。



ゆい

なんか きのこみたい・・・

後ろ足はどこに収納されてるんでしょう・・・

